

<報道発表資料>

2016年8月19日

富士山頂から大気科学専門家によるレクチャー動画を公開しました！ 「地球環境問題を学んでもらうプロジェクト」

認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会は、この度、富士山頂から大気化学専門家によるレクチャー動画を公開しました。

2015 年度ドコモ市民活動団体（環境分野）助成を受けて実施している「地球環境問題を学んでもらうプロジェクト」は、①ドコモ社の LTE 高速データ通信を活用し、研究者が富士山頂で取得した環境データのリアルタイム配信し、多くの市民に大気汚染状況を知ってもらい地球環境問題への関心を促すほか、②山頂にある富士山測候所から大気科学の専門家によるレクチャーをインターネット配信し、環境問題の基礎知識のみならず、データの開設、環境科学研究現場の最前線についても一般市民に啓蒙し、レクチャー中はチャット機能で質疑を可能とすることでインタラクティブ（双方向）コミュニケーションを実現するものです。

このうち前者の①についてはすでに [2016/07/16 \(ニュースリリース\)「二酸化硫黄 \(SO₂\) リアルタイムモニタリングデータの公開を開始」](#)でお知らせしましたが、この度は後者の②山頂にある富士山測候所から大気科学の専門家によるレクチャーのインターネット配信を開始します。レクチャーは3講座から構成されております。

講座 1	「微粒子が気候を変える」	三浦和彦・東京理科大学教授
講座 2	「富士山頂に設置してある各観測機材とその観測内容」	岩本洋子・東京理科大学助教
講座 3	「富士山頂での夏季 O ₃ ,CO,SO ₂ の観測」	加藤俊吾・首都大学東京准教授

こちら [パンドスタジオ渋谷](#) > [公開中の講座一覧](#) > [パンドスタジオ富士山頂](#) からご覧いただけます。

富士山頂からの環境活動に関する情報発信は、国民への環境問題意識向上への波及効果が期待されています。認定 N P O 法人富士山測候所を活用する会は、多くの専門家による分野横断的なアプローチで成果・ノウハウを共有化し、富士山測候所を「新しいタイプの開かれた研究・教育の拠点」とすることを目指しています。

パンドスタジオ富士山頂

「日本一高い大気科学研究所 富士山測候所を活用する会」



(* 1) 本事業は [MCF 2015 年度ドコモ市民活動団体 環境分野助成](#)を受けて実施しています。

(* 2) 映像編集は、[株式会社アルファ企画](#)の協力を得て行っています。